

誰もが楽しめる交流の場



学生、企業、市民つなぐカフェ開業

飯塚市

直樹・近畿大准教授は「みんながわくわくし、楽しめる新しい交流の場が誕生した。まずは足を運んでほしい」と利用を呼び掛けた。

学生と企業、市民の交流の場「つなぐカフェ@飯塚」が1日、飯塚市吉原町のあいタウン2階にオープンし、セレモニーがあった。運営委員長の長谷川

パソコンなど機器充実

カフェにはノートパソコン、大型スクリーン、3Dプリンターを備える。移動式の机とイスがあり、利用者は交流しながら、地域活性化のアイデアを形にしていく。仕事や勉強に使う個人ブースもある。運営は九州工業大の近藤秀樹助教を中心に、同大と近畿大の学生約10人が担う。施設利用は無料だが、会員登録が必須。

セレモニーには学生や企業経営者ら約60人が出席。NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター理事長で運営委員の小野正行さんが「大学はもっと開かれたもので良いと思っていたので、念願がかなった。さまざまな提案の実現のため協力をお願いした

い」とあいさつ。片峯誠市長は「飯塚市にとって学生は宝。学生と企業、市民が一緒になって、未来に向けた素晴らしいものにしてほしい」と述べた。学生による運営についての説明もあった。

利用時間は午前10時～午後9時。スタッフは交代制で、昼間にいないこともある。休館日は毎週水曜と年末年始。カフェの公式ツイッターやフェイスブックで情報を発信する。

問い合わせは長谷川准教授研究室 0948(22)5655。運営委のメールアドレスは tsunagu.cafe@izuka@gmail.com (中川次郎)

飯塚市のあいタウン2階にオープンした「つなぐカフェ@飯塚」